

**全国有力100社
アンケート調査**

**「やや弱気」が46%でトップ 2位の「横ばい」も
僅差、45%を占める**

10月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「10月の相場動向」の結果がまとまった。全体（電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計）の結果は、「やや弱気」が46%で最も多かった。2位の「横ばい」も45%とほとんど差がなく、この2つに回答が集中した。3番目に多かったのは「やや強気」で8%となった。「弱気」は1%、「強気」はゼロだった。

◆業種別～電炉メーカーの回答は64%が「やや弱気」
電炉メーカーの回答は「やや弱気」が64%を占めた。残りの36%は全て「横ばい」だった。商社・シッパーは、「やや弱気」と「横ばい」がともに41.5%と同率でトップだった。他は「やや強気」が17%となり、「強気」と「弱気」はゼロだった。

市中業者のトップは「横ばい」の47%。「やや弱気」も43%に達した。「やや強気」は8%、「弱気」は2%、「強気」はゼロだった。

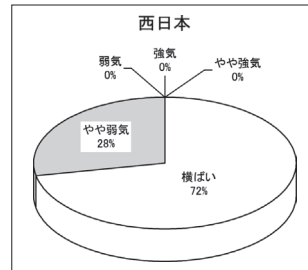
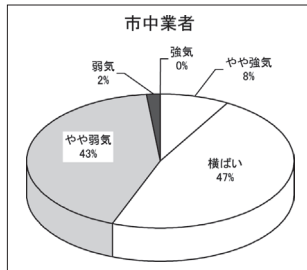
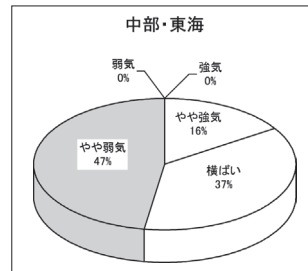
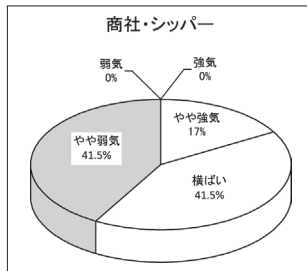
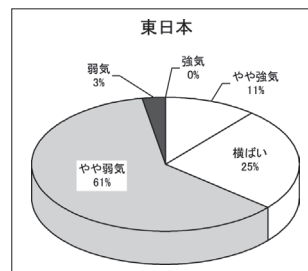
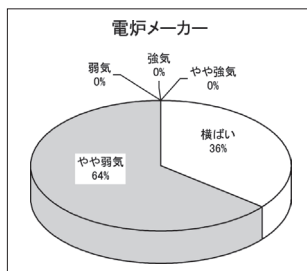
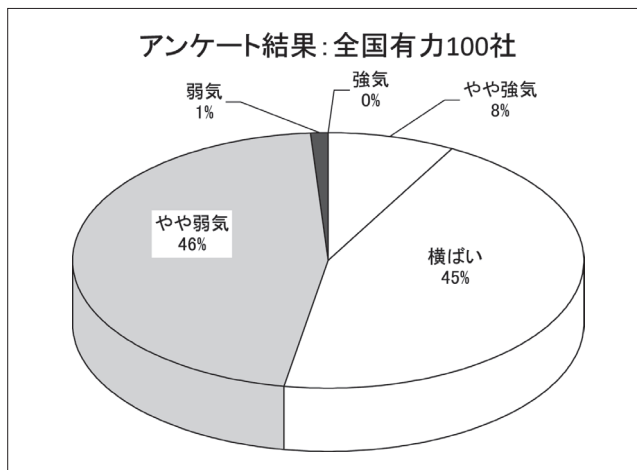
◆地域別～西日本は「横ばい」が72%、東日本では「やや弱気」が61%という結果に

地域的には回答にややバラつきが見られた。東日本と中部・東海はトップが「やや弱気」で、少ないながらも両地域で「やや強気」の回答が見られた（東日本11%、中部・東海16%）。その一方、西日本は「横ばい」が72%と圧倒的に多く、残りは全て「やや弱気」と、強基調の回答はゼロだった。

<個別コメント(一部)>

▼輸出向け数量が伸びない中、国内メーカー（特に高炉の購入増）がどこまで下支えできるか…。直近は上昇要因が強いとは考えられない。▼米屑が値下がり傾向ではあるが、日本国内は関東の粗鋼生産も10月は増産を予定しており、高炉の市中購入もある程度見込まれ、底堅く推移すると思われる。また、トルコ向け欧屑が多少値上がりし、反転の兆しが見える。▼解体案件も少しずつ出てきているので、発生量減という状況は改善されていくのではないか。▼9月末は海外市況

の軟化もあり、国内市況は一旦、調整局面となっているものの、10月以降は鉄鋼各社の生産維持は確実なため、平均的には横ばいを推定する。



Innovation for further growth
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

<http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19
TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】

■回答方法:10月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答
■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:9月25日～10月2日 ■回答率:87.0%(東日本90.0%、中部・東海95.0%、西日本80.0%)